

## 1. 概要

市役所敷地について、令和4年度の敷地東側でキッチンカー誘致社会実験とは異なり、コンテンツ（キッチンカー等）を導入せず西側も含めて什器類を配置することで、滞在空間としての可能性を検証することを目的に実施した。

### ○実施日時

- ・令和5年10月17日（火）～11月30日（木）
- ・期間中常設

## 2. ゾーンの設定

市役所東側広場の適切な利活用方法を探るため、3つのゾーンを設定した。



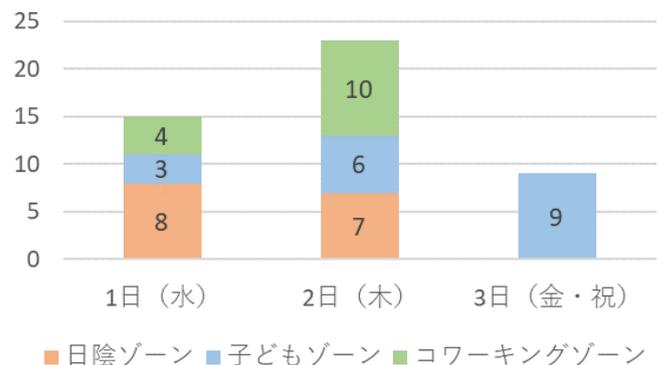
## 3. 滞在行动調査

### 滞在行动調査日時

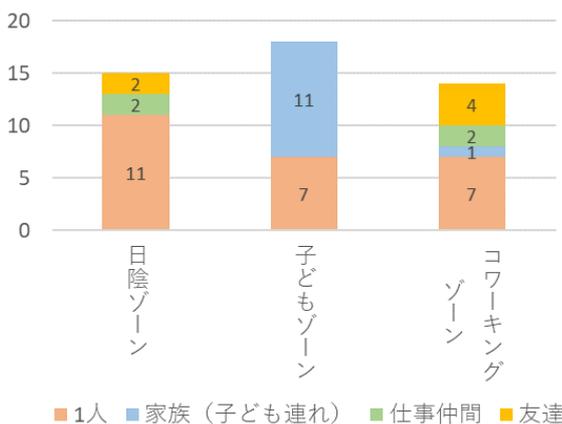
- ・11月1日（水）、2日（木）、3日（金・祝）
- ・10時～15時

- ・1日あたり9名～23名の滞在が確認され、平日で多かった。
- ・平日は各ゾーンで数名ずつ滞行者が確認できた。
- ・休日は、子どもゾーンに滞行者が集中した。
- ・日陰ゾーン及びコワーキングゾーンは一人での滞在が中心となり、子どもゾーンは家族（子ども連れ）が多く、一人も一定数見られた。
- ・行動別では、日陰ゾーンは読書・人待ちが多く、子どもゾーンはおもちゃと休憩、コワーキングゾーンでは会話と電話と各ゾーン異なる行動特性が見られた。
- ・パソコンはコワーキングゾーンよりも日陰ゾーンで多かった。

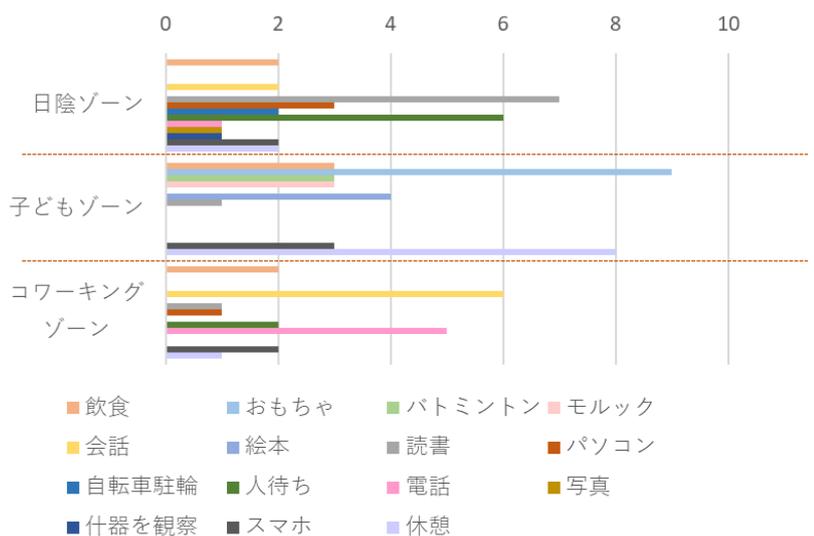
日別・ゾーン別滞行者数 (人)



同伴者別・ゾーン別滞行者数

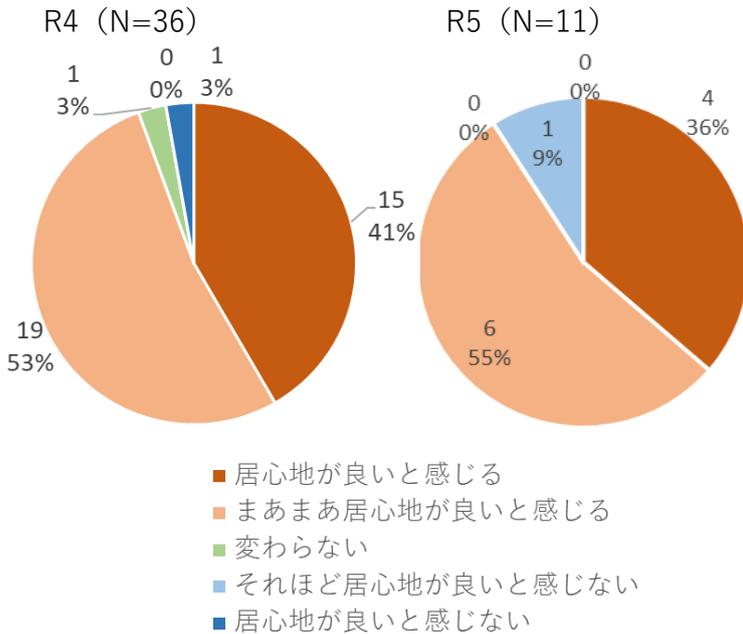


ゾーン別・行動別滞行者数

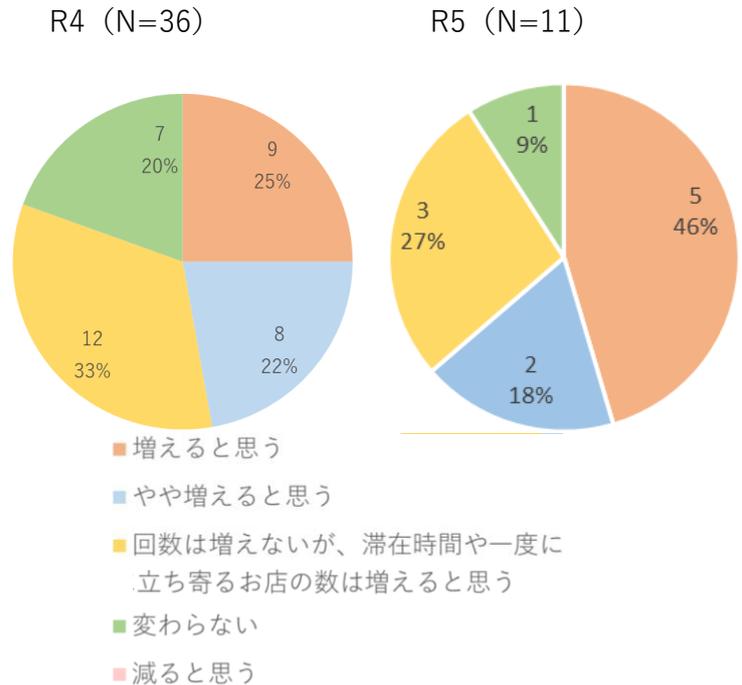


## 4. ビジターアンケート調査（令和4、5年度の比較）

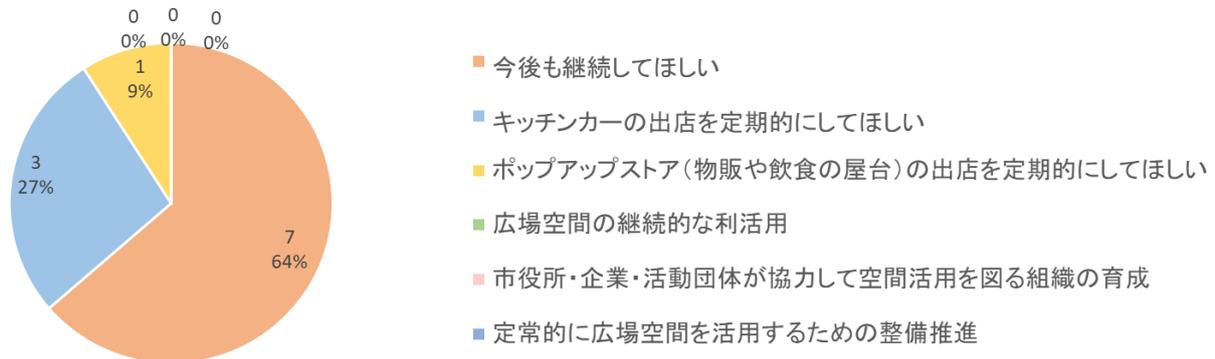
### ○居心地の良さ



### ○来街頻度への影響



### ○今後取り組んでほしいこと (N=11)



## 5. 得られた知見と今後の方向性及び課題

### ○得られた知見

- ・キッチンカーの有無に関わらず、什器を配置することで滞在空間として活用されることがわかった。
- ・各ゾーンで滞在行动が明確に変化し、それぞれ異なるニーズに対応したと言える。
- ・アンケートでは、今後の継続と定期的なキッチンカー出店へのニーズを確認できた。
- ・来街頻度への影響は、令和5年度でより高い効果を発揮する結果となり、空間整備の重要性を確認できた。
- ・朝は保育所の散歩コースとなり、子どもたちが遊ぶ場となっていた。

### ○今後の方向性

- ・令和5年度の空間計画を踏襲し、本格的な什器類の配置を行い、滞在空間・遊び場化を図る。
- ・令和4年度調査及び今年度アンケート結果を踏まえ、キッチンカーニーズに対応可能な空間を創出する。

### ○今後の取組に向けた課題

- ・ニーズの高かったおもちゃ類等の設置や維持管理体制の検討
- ・キッチンカーを誘致する場合やその他民間利活用を促進する運営管理体制構築検討